

**令和6年度 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
審査結果表**

大 学 名	名古屋大学	タイプ	Ⅱ：海外展開型
プ ロ グ ラ ム 名	グローバル・マルチキャンパスでの多文化共修を通じた未来社会の創造		
連 携 大 学 等	—		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、日本人学生の「留学促進の仕組み」を9つの観点から丁寧に抽出し、多文化共修を軸に活性化させようとしており、さらに、海外インターンシップや、SPU4大学からの留学生を対象とした多文化共修を設計し、企業連携や留学支援制度を設定することで、留学生の派遣及び受入れの拡大のための課題整理が明確であり、本事業全体の趣旨を踏まえたものとなっている。

その展開に当たっても、G30、SGU、大学の世界展開力強化事業など、これまでの多様なグローバル化事業の取組・経験の基での国際教育に係る課題整理に対応した改善・解決策を縦横に組み込み、求める人材像としての「勇気ある知識人」に相応しい幅広い教養と高い専門知識および技能と、それらを具体的に涵養していくための3つのフェーズを今回の海外連携先であるSPU4校を巻き込んだ計画を具体的に設計している点は特徴的である。特に、国際教育に係る課題への対応の1つである、分野横断型学位プログラムの実施は挑戦的であると同時に、Project based learning を軸とした展開は、新たな大学院教育のモデルとなりうる点について評価できる。

さらには、大学規模でのマネジメント体制や資金獲得計画が確立されている点、学生が参画するメリットの見える化、経済的支援や産学連携など、具体的な策を講じており、その実現可能性が高いことが期待される。

一方で、本プログラム計画では、グローバルポイントの運用がポートフォリオと紐づけられているように見受けられ、ポイントの活用が在籍中に限られてしまう懸念があり、マイクロクレデンシャルのような用途などへの展開についての構想が不明瞭であり、さらなる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、世界や地域の課題解決に資する人材を育成するため、多文化共生社会の実現を牽引し、さらに多文化共修による教育研究活動を、国内外の課題解決策の提案や社会実装の先にある「ソーシャルインパクト」の創出につなげていくことを強く要請する。